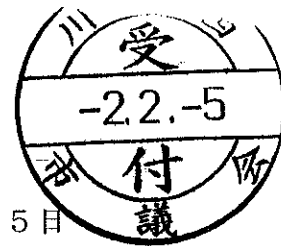


2020（R2）年 2月 5日



川西市議会議長 様

会派(呼称)名 日本共産党議員団

議員名

黒田 美智

北野 紀子

吉岡 健次

管 外 調 査 報 告 書

このたび、管外調査をいたしましたので、その概要を下記のとおりお届けいたします。

記

- 1 調査者氏名 黒田美智・北野紀子・吉岡健次

- 2 調査先 1、芦屋市 芦屋市立山手中学校（給食）
2、市立芦屋病院

- 3 調査期間 2020（R2）年 1 月 23 日（木）

- 4 調査結果の概要

1、芦屋市立山手中学校（自校方式の給食について）

別紙 報告書の通り

2、市立芦屋病院

別紙 報告書の通り

1、芦屋市立山手中学校（自校方式の給食について）について

2020年1月23日（木）午前11時～午後1時

対応・案内を頂いた 芦屋市議会事務局 議事調査課 亀岡学主査

対応頂いた 芦屋市教育委員会学校教育課 木下新吾課長

芦屋市立山手中学校 花尾廣隆校長

同

奥瑞恵主幹教諭（栄養担当）

事前にお問い合わせした質問事項

- （1）早期実現の声がある中で、3中学校一斉に実施しなかったことに対する市民・保護者の理解について
- （2）自校調理方式を採用した理由について
- （3）潮見中学校の給食室、ランチルーム建替事業費及び財源について
- （4）アレルギー対応について
- （5）地産地消の取り組みについて
- （6）食育の取り組みについて
- （7）残食及び生徒の評価について
- （8）米飯給食や手作り給食及び献立の工夫について
- （9）給食の準備について
- （10）調理を民間事業者に委託をしていることについて

上記の質問事項を中心に懇談していただきました。

芦屋市中学校給食として大切にしたいこと

・小学校（自校直営、管理栄養士配置、自校献立・発注）の良き学校給食を中学校給食では、更に良いものにしようと議論を重ねてきた。

小学校と同じものではなく、中学校給食と差別化を図る（小・1食250円負担、中・1食290円負担、量は1.2倍）、食器の大きさを変える、見た目・食べやすさも思春期を考慮して献立・調理・配膳を考えている、行事食・教育とコラボ（バレンタイン、修学旅行・沖縄料理、図書とコラボ、市内のシェフ献立など）、食育（トライやるウィークで作った梅シロップをゼリーに、デザートで食べた甘夏の皮を回収後、マーマレードにする）など、様々な工夫をおこなっている。（写真参照）

小・中、それぞれの学校で自校献立、発注になっているが、情報共有しながら、芦屋市らしさにこだわり、学校給食に取り組んでいる。

中学校は直営ではなく、調理業務のみ委託になったが、小学校と同じレベルで調理業務が行えるよう仕様書を作成。「手作り愛情給食」を徹底している（山手中学校522食、委託業者の正社員4名、パートなど3～4名配置、毎日7～8名で調理に当たっている）。

中学校は直営ではなく、調理業務のみ委託になったが、小学校と同じレベルで調理業務が行えるよう仕様書を作成。「手作り愛情給食」を徹底している（山手中学校522食、委託業者の正社員4名、パートなど3～4名配置、毎日7～8名で調理に当たっている）。



👉 水菜やホウレン草などの葉物は、1本・1枚ずつ丁寧に水洗いする。

野菜類など、全て調理する者がまな板・包丁を使った切る・刻む（食感にこだわっている）。

👉 食器洗い場・残飯入れ
（残飯はほとんどないとのこと）

👉 真空冷却器
グリルオーブン
などの機器設置
で献立がより豊
かになっている
とのこと

調理室はドライ
方式
回転ガマなどの
設置も動線を考
えて設置 📍



👉 給食時間（準備15分、食事20分、片付け15分程度）小学校で給食当番をしているのでこども達には戸惑いがない。速やかに準備、食事ができるように、給食室への動線など工夫されている。個々人の食事量は違いがあるので、おかわりタイムなどクラスで工夫されている

食育の取組・メニューの時は不登校生徒が来てくれることもあるとのこと





👉 甘夏マーマレード～食後に食べた甘夏の皮を回収。マーマレードジャムに変身。

「給食と読書のコラボ」 👉



👉 試食（麦ご飯・切干大根のふりかけ・粕汁・小松菜ときのこの和風サラダ・擬制豆腐・牛乳）「郷土料理の粕汁を味わおう！」給食室からのお便りつきです。

とても美味しく、量も十分でした



👉 中学校給食は、小学校の1.2倍。食器を大きくすると共に、コロケなどは大きいものではなく、手間がかかるが2個にして、食べやすさなども配慮。身体の大きさ、活動量の個人差、思春期への配慮を行っている。担任はもちろん、栄養教諭も日々子ども達の様子・実態から学び、工夫を繰り返しているとのこと

食育の取組が、各学校で行われているもの👉の他に、学校給食展など市の取組、市内有名シェフの料理セミナーなど多彩な取組が行われている。（小学生「味覚の授業」など）

行事食も多彩で、阪神・淡路大震災の日には「おむすびの日（豚汁）」。被災した話もするとのこと。学校行事・授業での取組や季節の野菜特集（週間）を給食だよりや献立表で紹介するなどの工夫もあり、生徒だけでなく、保護者へ発信も工夫されている



生徒の手作り「給食」文字👉
給食展に飾ってくれたものを校内掲示板に





👉 老朽化校舎の建替・建設中。近隣住民の声を聴いて、芦屋市らしく、学校らしくない建物としてオープン。中学校給食は、ちょうど1年目を迎える。

正面玄関を入ると中庭・ランチの庭。周囲に教室が配置されている。

新しい建物なので、黒板ではなくホワイトボード設置。ITを使った授業になっている。壁一面が白いので、映像を映すことができる。 👉



👉 体育館など特別教室など建設中
(完成予定2021年3月)



校門前にて

(黒田・北野・吉岡) 👉

奥教諭の本当に熱心な取組みをお聴きして、議員団感動の連続。市・教育委員会の揺るがない「芦屋らしく」とした方針、現場の声、市民(子ども)のためにという熱を十分感じて視察を終えました。(雨天～お天気が良ければもっと写真も綺麗だったと残念です)



2、市立芦屋病院について

2020年1月23日（木）午後1時～午後1時30分から4時まで

対応・案内を頂いた 芦屋市議会事務局 議事調査課 亀岡学主査

対応頂いた 芦屋市 市立芦屋病院事務局総務課 上田剛課長

同

高田勢子課長補佐

事前にお問い合わせした質問事項

- (1) 新病棟・外来棟、管理棟のリニューアル事業及び財源について
- (2) 経営形態の見直しについて
- (3) 経営完全の取組みについて、主な取組みと成果及び課題について
 - ① 1日平均入院患者数及び外来患者数について
 - ② 入院稼働率及び単価について
 - ③ 入院在日日数について
 - ④ 救急受け入れ件数について
 - ⑤ 手術件数について
- (4) 患者獲得の取組みについて
 - ① 地域開業医との連携について（紹介率・逆紹介率）
- (5) 人材確保と育成についての取組み及び課題について
 - ① 医師、看護師の確保及び人数について（常勤、非常勤）
 - ② 女性医師のための環境整備について
- (6) 病室について、部屋タイプ別の数及び面積について
- (7) 入院食について、特色など
- (8) 災害や感染症対策について
- (9) 院内開業診療所の状況について
- (10) 図書館の利用（本の貸出状況）及びコンビニ、レストランの利用状況について

上記の質問事項を中心に懇談していただきました

・平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災で壊滅的な被害（市民444人、職員4人死亡、全壊家屋30.6%、半壊家屋26.4%）。復旧・復興に取り組んだが、景気の低迷による市税収入の減と災害復旧・復興への財政負担で、平成20年度に財政再建団体への転落が必至という非常事態になった。「芦屋市財政非常事態宣言」を打ち出し、行政改革実施計画を策定。市立芦屋病院への約9億円の繰り出し金の内、4億円をカット、病院の在り方を本格的に見直すことになった。この地で建替え（眺望が最高）、272床を199床に減らし、外来棟と北病棟は改修でリニューアル（外来棟と検査棟に）、病棟は新築（総額約60億円）。

来年度（2020年度）は、黒字化を目指す（2018年度実績～入院稼働率90.9、入院単価47994

円、平均在院日数 12.9 日、外来 1 日平均 350.7 人、救急受入患者数 5137 件、手術件数 2478 件、紹介率 40.6%・逆紹介率 79.6%) 医師数 (常勤 36 人・非常勤 15 人・女性医師 9 人)、看護師 (常勤 142 人、非常勤 30.7 人) 医師数は R1 年 38 人、R2 年 40 人の予定。認定看護師は 13 人。

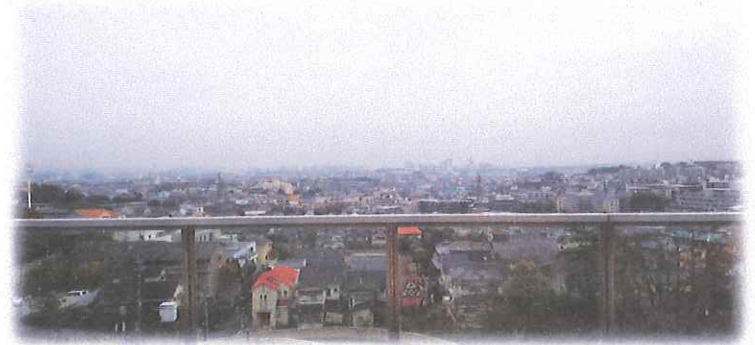


👉 新築・入院病棟 (199床)
駐車場 199台分

芦屋市らしさを大切にしたいため、この山
手で建替え (屋上からの眺望) 👉

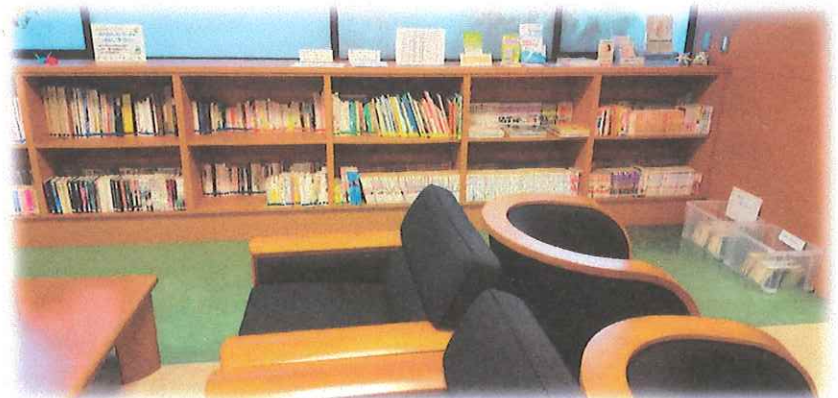
👉 緩和ケア病棟 (23床個室)
家族用キッチン デイルーム
家族控室 (3部屋) サロン

入院 199床
(個室 127床 63.8%トイレ付)
2人部屋 8室 4人部屋 14室



👉 リハビリ室 和室の訓練室も有り

待合サロン 図書コーナー設置 (図書は
市民からの寄付) 👉





👉 レストラン 4階
コンビニ 3階（受付階）

無料「病院ネットワークバス」定員29名
市立芦屋病院→芦屋セントマリアクリニック
→芦屋市保健福祉センター→南芦屋浜病院前
7:55～16:50（月～金）
30分から60分に1本・所要時間30分 📍

地方独立行政法人化を目指したが、議会で
2回否決。地方公営企業法・全部適用へ

院内開業医（耳鼻咽喉科・泌尿器科・歯科
（口腔外科））を求めたが、現在は泌尿器科と
歯科開所中

丁寧に説明・懇談をして頂きました 📍



視察を終えて～中学校給食・病院共に、「芦屋市らしく」
を大切に取り組んでこられた事の熱意がひしひしと伝
わってくるお話しにアツという間に時間が経過してい
ました。現場の職員さんの意見が活かされているのか、
市単費で管理栄養士の配置、バス運行の工夫のあり方、
これから目指していく方向性など、説明（応答）してく
ださる方の熱意が伝わってきて、何より楽しそうで嬉し
かったです。

貴重な時間を頂いて、本当に勉強になりました。川西
市にどう活かしていくのか、更に研鑽していきたいと考
えています。